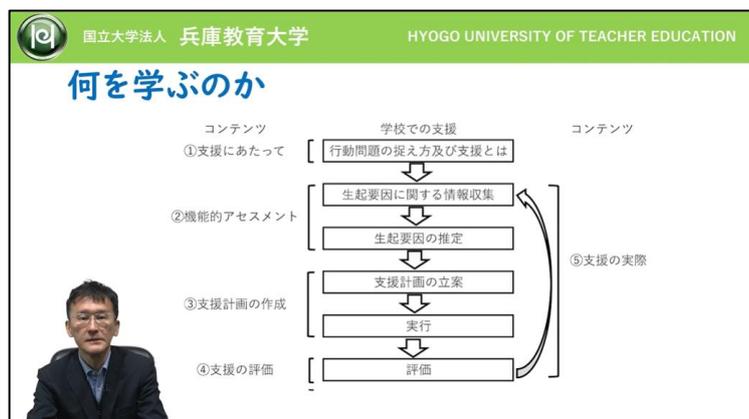


# 行動面の困難を示す児童生徒への理解と支援



## 内容

本コンテンツは、受講者が行動面の困難を示す児童生徒に対して具体的な支援を行い、評価していくことを目的とし、実際の支援の流れに沿った内容を用意する。

- 1) 行動問題への支援にあたって: 行動問題の基本的な捉え方及びチーム支援を行う重要性を理解することを目的とする。最後に、2)～4)の内容の概要を解説し、視聴者が本事業の全体像を理解しやすくする。
- 2) 機能的アセスメント: 行動問題の捉え方および具体的な行動問題のアセスメントに関する内容を理解することを目的とする。併せて、アセスメント内容から行動問題の生起要因の仮説を立てるための内容を含める。
- 3) 支援計画の作成: 機能的アセスメントに基づき、行動問題の代替となる望ましい行動の設定、望ましい行動が生じやすい教師の日々の対応を含めた環境整備、望ましい行動が生じた後の対応に関する支援計画の内容を理解することを目的とする。
- 4) 支援の評価: 支援を行う過程で必要な記録内容や方法、それらの記録に基づく評価内容や方法について理解することを目的とする。
- 5) 支援の実際: 学校現場での実際的な活用を可能にするため、2)～4)の内容に沿って、実際の実践事例を紹介し、2)～4)の内容の理解を深めることを目的とする。受講者が実際に支援を開始することができるために、チームで行うための留意点や工夫について、実際に支援を行った経験のある現場の教師の解説を含める。

## 講師 (所属等は令和7年3月時点)

兵庫教育大学 大学院学校教育研究科 教授 岡村章司  
兵庫教育大学 大学院学校教育研究科 教授 井澤信三  
高知大学 教育学部 講師 宮田賢吾  
明石市立清水小学校 教諭 山川祐吾